

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立長坂小学校

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（54人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数、理科

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、国語と算数は、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。理科はA,Bの区分なし。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べて低位側にある。全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 61.4／泉佐野市 66.7／大阪府 67.6／全国 70.0）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べて低位側にある。また、山なりではなく凸凹が目立つ。
平均正答率（本校 51.4／泉佐野市 59.2／大阪府 62.7／全国 65.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

| 国語A | 特徴がみられた設問 |
|---|--|
| <p>【漢字の読み書き】 他の項目に比べると全体的に健闘している。 1ー1（98.1/97.5）、2（98.1/95.7）と1二3（79.6/74.9）は全国を上回る。</p> <p>【文型/主語と述語の関係理解】 2二（72.2/71.7） 文を構成する主語と述語との照応関係を正しくとらえることができる。</p> | <p>【読んで理解する能力】に課題 5ー（44.4/59.5） 5二（11.1/19.8） 新聞のコラムを読んで表現の工夫をとらえる。</p> <p>6（46.3/67.5） 文を読んで登場人物の関係をとらえる。</p> <p>7（55.6/73.9） 作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取る。</p> <p>*いずれも長文ではないが読んで内容を把握する力や問われている意味を適確にとらえられていないと考えられる。</p> |
| 国語B | 特徴がみられた設問 |
| <p>【読んで理解すること、また、そのことを書くこと】に課題 1三（24.1/34.7） 目的や意図に応じ取材した内容を整理しながら記事を書く。</p> <p>2ーア（61.1/75.5） 2ーイ（72.2/86.0） 目的に応じて中心となる語や文をとらえる。</p> <p>2二（53.7/78.4） 目的に応じ文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえて書く。</p> <p>2三（27.8/41.6） 文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く。</p> | <p>3二（44.4/66.6） 登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読することを理解してその理由を書く。</p> <p>*いずれもA問題に比べ、問題文がかなり長くなっており、また、設問の説明もたくさんあることで混乱していると考えられる。</p> <p>*さらに、考えたことを字数制限でまとめて書かなければならないため、その表現力が問われている。</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|---|------|------|-------------|------|
| 国語の勉強は好きですか。 | 60.4 | 61.1 | | 0.7 |
| 国語の勉強は大切だと思いますか。 | 92.4 | 92.0 | | 0.4 |
| 国語の授業の内容はよく分かりますか。 | 83.0 | 82.0 | | 1.0 |
| 読書は好きですか。 | 52.8 | 72.8 | ○ | 20.0 |
| 国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか。 | 98.1 | 88.6 | ◇ | 9.5 |
| 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしていますか。 | 56.6 | 65.2 | ◇ | 8.6 |
| 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。 | 52.8 | 61.2 | ◇ | 8.4 |
| 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。 | 67.9 | 72.7 | | 4.8 |
| 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか。 | 67.9 | 77.2 | ◇ | 9.3 |
| 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。 「すべての書く問題で最後まで努力した」割合 | 77.4 | 77.7 | | 0.3 |
| A問題の解答時間は十分でしたか。 （「余った」「ちょうどよい」の合計） | 84.9 | 83.3 | | 3.2 |
| B問題の解答時間は十分でしたか。 （「余った」「ちょうどよい」の合計） | 67.9 | 67.6 | | 0.3 |

*上記の数字は4択「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」のうち、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合を合わせたもの

- 国語の学習は大切で授業の内容も良くわかると感じているが、具体的な言語活動が弱く正答には至らないと考えられる。
- 自分の考えを話したり書いたりすること、そのために組み立てを考えたり理由を組み込むなどといった、言語活動に対する項目の回答がかなり低く、正答数の結果にも表れている。
- 「読書は好きか」の回答が全国と比べてかなり低く、活字（長文）に慣れ親しむ素地が培われていないことがうかがえる。
- 解答時間に余裕を感じている割合が国より高い。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、5問以上の範囲にあるが、10問以下の低位側で全国と比べ多くなっている。

平均正答率（本校 68.5／泉佐野市 73.5／大阪府 74.8／全国 75.2）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国に比べ低位側（6問以下）にふくらみ、上位層が少ない。

平均正答率（本校 34.5／泉佐野市 40.8／大阪府 44.1／全国 45.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

| 算数A | 特徴がみられた設問 |
|---|--|
| <p>○少数の差の問題 2（2）$6.79 - 0.8$を計算する。 (50.0/69.5)</p> <p>○角の大きさの見当をつける問題 4（1）90度, 180度, 360度を基準として角の大きさを見当づけたものから正解を選ぶ。(70.4/81.3)</p> <p>○分度器の目盛りを読む問題 4（2）180°より大きい角度を求める。(40.7/58.0)</p> | <p>○円の性質を利用する問題 5（1）円の中心と、円周上の2点を頂点とする三角形が二等辺三角形となる理由を選択肢から選ぶ。(33.3/50.6)</p> <p>○二等辺三角形の性質を利用する問題 5（2）二等辺三角形の底角を求める。(55.6/64.5)</p> <p>○作成途中の展開図について考える問題 6（1）展開図を見て、残りの面を推測、その面の縦と横の長さを考える。(61.1/75.4)</p> |

| 算数B | 特徴がみられた設問 |
|--|---|
| <p>○平行四辺形の作図の説明を見て、平行四辺形の特徴を選択する問題 1（2） (35.2/54.6)</p> <p>○地図とその説明を理解し、そこにある図形名とその特徴を書く問題 1（3） (14.8/27.7)</p> <p>○割合の問題 2（2）基準量と割合から割合にあたる比較量を求める (7.4/13.1)</p> <p>○概数の問題 4（1）四捨五入して千の位までの概数で計算する (31.5/52.6)</p> | <p>4（2）切り上げて計算した場合の見積結果がわかる (44.4/62.0)</p> <p>4（3）概数を用いた計算結果から、問題文にある考え方の理由を記述する (13.0/22.3)</p> <p>○図形から面積を求める問題 5（1）示された図において、分割された2つの図形の面積が等しくなる理由を記述する (7.4/12.5)</p> <p>* 図や図形から考察して、数学的な考え方を表現する問題に課題がある</p> <p>* 割合や概数の問題に課題がある</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|---|------|------|-------------|------|
| 算数の勉強は好きですか。 | 64.1 | 66.6 | | 2.5 |
| 算数の勉強は大切だと思いますか。 | 90.6 | 93.1 | | 2.5 |
| 算数の授業の内容はよく分かりますか。 | 73.6 | 81.0 | ◇ | 7.4 |
| 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。 | 79.2 | 77.5 | | 1.7 |
| 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。 | 79.2 | 79.6 | | 0.4 |
| 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。 | 56.6 | 67.7 | ○ | 11.1 |
| 算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか。 | 92.5 | 90.3 | | 2.2 |
| 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。 | 75.5 | 79.1 | | 3.6 |
| 算数の授業で公式やきまりを習うと、そのわけを理解するようにしていますか。 | 83.0 | 80.6 | | 2.4 |
| 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるように、ノートに書いていますか。 | 75.4 | 83.8 | ◇ | 8.4 |
| 今回の問題で言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、どのように解答しましたか（最後まで書こうと努力した割合） | 73.6 | 73.3 | | 0.3 |
| A問題の解答時間は十分でしたか。 （「余った」「ちょうどよい」の合計） | 84.9 | 84.6 | | 0.3 |
| B問題の解答時間は十分でしたか。 （「余った」「ちょうどよい」の合計） | 62.2 | 63.7 | | 1.5 |

*上記の数字は4択「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」のうち、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合を合わせたもの

- 「算数の内容が分かる」割合が全国に比べ、低い。
- 算数の学習が、大切で将来役立つという意識の割合は低くないが、好きと感じている割合は低い。
- 算数の学習をふだんの生活に活かそうとする意識が弱い。
- 日ごろから自分の考え方がわかるようにノートに書いている割合が低い。

平成 27 年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・ 平均正答数の全体的な分布状況は全国の 17 問をピークに山形なのに対し、本校は 10 問をピークに 6 ～ 16 問に集中している。
- ・ 正答数の全体的な分布状況は全国に比べ低位側にふくらみ上位層が少ない。

平均正答率（本校 47.5 / 泉佐野市 53.6 / 大阪府 57.3 / 全国 60.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率 / 全国正答率）

| 理科 | 特徴がみられた設問 |
|---|---|
| ○ 1 (2) 振り子時計の進み方を調整する内容を選ぶ。 (42.6/61.2) | ○ 3 (4) 示された器具（メスシリンダー）の名称を書く。 (24.1/70.7) |
| ○ 1 (3) 熱膨張のグラフから、振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び選んだわけを書く。 (40.7/62.8) | ○ 3 (5) メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を選ぶ。 (29.6/51.7) |
| ○ 1 (4) 電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ。 (38.9/53.2) | ○ 3 (6) 水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係のグラフから、水の温度が下がったときに出てくる砂糖の量を選び、選んだわけを書く。 (14.8/28.9) |
| ○ 1 (5) ア 電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく揺れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ。ア (66.7/72.7) イ (50.0/66.2) | ○ 4 (2) 夕方にみられる月の形と場所を選ぶ。 (38.9/56.1) |
| ○ 2 (4) 顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ。 (27.8/37.9) | ○ 4 (3) 星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ。 (61.1/55.3) |
| ○ 2 (5) インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び選んだわけを書く。 (20.4/44.2) | ○ 4 (5) 水が水蒸気になる現象について、その名称を書く。 (40.7/58.5) |
| ○ 3 (2) 水の温まり方の予想を基に、温度計が示す温度が高くなる順番を選ぶ。 (38.9/54.0) | |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|---|------|------|-------------|------|
| 理科の勉強は好きですか。 | 75.4 | 83.5 | ◇ | 8.3 |
| 理科の勉強は大切だと思いますか。 | 71.7 | 86.9 | ○ | 15.2 |
| 理科の授業の内容はよく分かりますか。 | 77.4 | 87.9 | ○ | 10.5 |
| 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか。 | 77.4 | 86.9 | ◇ | 9.5 |
| 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。 | 56.6 | 69.3 | ○ | 12.7 |
| 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。 | 64.2 | 74.5 | ○ | 10.3 |
| 将来、理科や科学技術に係る職業に就きたいと思いますか。 | 22.7 | 28.8 | ◇ | 6.1 |
| 理科の授業で自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしていますか | 52.8 | 54.9 | | 2.1 |
| 理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか。 | 66.1 | 90.0 | ○ | 23.9 |
| 観察や実験を行うことは好きですか。 | 75.5 | 90.1 | ○ | 14.6 |
| 理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。 | 62.3 | 75.3 | ○ | 13.0 |
| 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。 | 67.9 | 80.4 | ○ | 12.5 |
| 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。 | 58.5 | 67.1 | ◇ | 8.6 |
| 調査問題の解答時間は十分でしたか。 | 86.8 | 79.6 | ◇ | 7.2 |

* 上記の数字は4択「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」のうち、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合を合わせたもの

- 「理科の学習は大切」という認識の割合が全国と比べて低い
- 授業での観察や実験体験の認識の割合が全国と比べてかなり低い
- 観察や実験への意欲も全国に比べて低い
- 生活に活かすや、将来役立つなど理科を肯定的に認識している割合が全国と比べて低い
- 将来的に理科や科学技術関係の仕事に就きたいと思っている割合が低い
- 計画を立てて学んでいる、考察する意識が全国に比べて低い

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

下記の表には全国と比較して原則5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を挙げている。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

| 設問内容種別 | 本校の状況 | 本校 < 本校回答率 / 全国回答率 > |
|---------|------------------------------|--|
| 家庭・地域生活 | ○基本的な生活習慣に課題がある。 | ○毎日同じくらいの時刻に寝ている。 <69.8/79.5> ○毎日同じ時刻に起きている。 <83.0/91.0> ○朝食を毎日食べている。 <86.8/95.6> |
| | ○TVやケータイ/スマホの使用時間が長い。 | ○1日にどれくらいTVやビデオ・DVDを見るか。 <3時間以上 60.4/36.1> ○1日にどれくらいTVゲーム（ケータイ、スマホ等含む）をするか。 <3時間以上 41.5/17.0> ○1日にどれくらいケータイ、スマホ等で通話やメール、インターネットをするか。 (3時間以上 9.5/5.7) <不所持 32.1/42.0> |
| | ○新聞を読むこと、読書をするのが少ない。 | ○新聞を読んでいる。 <11.4/23.7> ○一日あたりどれくらい読書しますか。 (10分より少ない・全くしない) <58.4/35.7> |
| | ○地域に対する関心が低い。 | ○住んでいる地域の行事に参加する。 <41.5/66.9> ○地域や社会の問題や出来事に関心がある。 <54.7/63.9> |
| | ○人に認められたい、前向きにがんばろうとしている。 | ○人の役に立つ人間になりたいと思う。 <100/93.7> ○最後までやり遂げてうれしかった経験<98.1/94.5> ○難しいことでも失敗を恐れず挑戦する<77.3/76.4> |
| 家庭学習 | ○宿題はほぼするが、それ以外の家庭学習の取り組みが弱い。 | ○自分で計画をたてて勉強する。 <35.8/62.8> ○学校の授業の復習をする。 <37.7/54.5> ○学校の授業の予習をする。 <24.5/43.4> |
| 学校生活・学習 | ○学校は楽しいが、自律面が弱い。 | ○学校に行くのが楽しい <92.5/87.0> ○きまりなど話し合って決めている <71.7/80.5> ○学校のきまりを守っている <88.7/91.1> |
| | ○総合的な学習の取り組みが弱い。 | ○総合的な学習で、自分で課題を立て情報収集、整理、発表するなどの活動に取り組んでいる。 <50.9/65.8> |
| | ○授業における目標設定、振り返りの活動ができていない。 | ○5年生までの授業では授業のはじめに目標が示されていた。 <92.4/86.3> ○5年生までの授業では最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた。 <83.0/75.3> ○5年生までに受けた授業で扱うノートには目標とまとめを書いていた。 <94.3/87.1> |
| | ○作文や説明には苦手意識がある。 | ○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい。 <71.7/60.1> ○考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることは難しい。 <58.5/55.2> |

本校の取組み

◎これまでの取組み

1. 基礎基本の学力の定着

◇長坂タイム（始業前10分 50分/週）の取組み

国語（漢字、音読など）学習

◇学習規律の確立「長坂小みんなの学習ルール」「聞きとり名人あいうえお」

話す、聞くなど適切な学習態度・行動を促す。

◇短時間集中計算

授業始めにフラッシュカードを使った短時間集中型の計算練習

◇ノート指導

見やすいノートの基準を示し、ていねいにノートを書く習慣をつける。

◇わくわく学習会

週1回放課後学習会（希望参加）を設定。集中して学習する姿勢を身につけ、算数の基礎基本問題を解き、自分の課題を克服していく。

2. TT（チームティーチング）、少人数指導・少人数習熟度別指導

◇学習内容によって、学びの形態を変え、よりわかりやすい授業、個別課題に対応する授業を行う。

3. 宿題・家庭学習の徹底

◇家庭学習の習慣化を促す「家庭学習の手引き」

家庭での基本的な学習態度を示し、定期的に「宿題ばっちりウィーク」を設定し、家庭でも評価してもらう。

4. 指導力の向上

◇「聞く、話す」の力を高めるために（国語科の授業研究を通して）

基礎基本の学力をもとに、実際に課題を解決していく手立て（活用力）を高めていくため、「人の話を主体的に聞く」「自分の意見を人にわかるように話す」といった力をつける言語活動を研究・実践する。

◇「わかる授業」づくりのスキルを高める

上記の研究と並行して教室環境の整備、授業のめあての明示と自己評価、板書の工夫、聞きやすい説明の方法、意欲を高める評価方法など、実践交流を行い、研究通信により情報共有する。

◇学力向上アドバイザーの配置

子どもの学習相談や課題のフォロー、職員の授業力アップに資する人材の活用により、学力課題に対する組織的取組み支援と個別支援をすすめる。

◇算数サポーターの配置

授業中の個々の「わかりにくさ」に適宜対応できる個別支援をすすめる人材の活用。

5. 学級集団づくりと生徒指導

◇子どもたちの人間関係を把握し、安心して自分が出せ、ともに学習していく学級経営の研究と実践を行うとともに、一つひとつの生徒指導上の事案についてケース会議等、学校総力をあげて心の安定を図る。

◎これからの取組み

本調査結果と上記取組みの検証をもとに、心の安定を図り、「わかる授業」づくり・授業のスタンダードを再構築し、それぞれの取組がより有機的に結びつき実践できるようにする。

基本方針と具体策

「子どもたちの心の安定を図り、主体的な学習をすすめる」

合い言葉は ～あなたも わたしも 大切な ながさかっこ 聴きあって 話しあって GO!～

◇自他を大切に心安定を図る取組み

1. 相手を尊重する気持ちで行動します
心を温めることばや行動を増やします
学習や生活のルールを守って自分も相手も大切にします
人のよさを発見して伝え合い、お互いのよさに気づきます
2. トラブルは子どもたちが主体的に解決していきます
怒りを発散し、感情をコントロールする方法を身につけます
相手を攻撃せずに、話し合っ解決する方法を身につけます
3. 私たちは子どもに尊敬の思いを込めます
子どもの生活を知り、共感することから始めます
人権に対する意識をきちんと子どもに伝え、不合理には立ち止まり、人を大切にすることを問いかけ、共に考えます
4. 「自他の大切さ」を学校の文化として根付かせます
学んだ事や取り組んだことを表現し、積極的にアピールします

◇言語活動を充実させ、主体的な学習をすすめる取組み

1. 子どもと先生、子ども同士、いっしょに授業をつくります
自分の気持ちや考えをもって相手に働きかける能動的な学習をすすめます
2. 「聴く」は主体的にきくこと
目的をもって集中して話を聴きます
相手が話しやすいように共感して聴きます
3. 話し合うことで力は増し、自分を振り返り、高めます
正確にわかりやすく伝えるスキルを身につけます
話し合えば新たな世界が広がることを経験します
ペアやグループなど、多様な聴き合い、話し合いの活動をします
自分を振り返り、これからの意識づけ、目標をもちます
4. 表現と交流のためにホワイトボードを活用します
ビジュアルな交流で相互理解を深めます
失敗を恐れず、表現することに積極的になります
ホワイトボードミーティングで建設的な話し合いをします
5. チームワークを大切にします
自分の役割を自覚し、組織的な活動の大切さを実感します